



熊野の神様が最初に降臨したとされる霊石「ゴトビキ岩」は、その大きさもさることながら、はるか太古の昔より鎮座し多くの生命を見守り続けてきたという歴史が感じられ、「ここが熊野のもとなんだ～」と実感。

スピリチュアルなパワーと
文化の香り漂う町

熊野新宮

和歌山県の南端、みなべからは車で約2時間半のところにある新宮市は、熊野三山の一つ「熊野速玉大社」の門前町として栄え、様々な文化人を生み出してきました。今回のぷらむ一行は、遠く神話の時代から神々の鎮まるところとして崇められ、多くの人々を迎え入れてきた聖地・熊野新宮の、歴史を感じる旅へと出発しました。

※地元新宮高校出身のぷらむ隊長が熱く語る学生時代の思い出話は完全オールカットにてご案内します。(笑)

自然信仰の聖地といわれる熊野。もともと日本には宗教とよばれるものではなく「磐・石・滝・樹木」などを神として崇め、信仰の対象としてきました。雄大な熊野川を御神体とした熊野本宮大社、那智の滝が御神体の熊野那智大社、そしてここ新宮では、神倉山の大きな岩への信仰を起源とする熊野速玉大社があり、神倉神社（元宮）に対して熊野速玉大社のことを新宮（にいみや）と呼んだのが、新宮（しんぐう）という地名の由来と言われています。スピリチュアルで有名な江〇さんも神倉神社に訪れた際は、感嘆の声をあげられたそうですよ。



神倉神社からは
新宮市街や
熊野灘が
一望できる
絶景が！



熊野速玉大社

くまのはやたまたいしゃ



熊野三山の一つ熊野速玉大社は、鮮やかな朱色がまるで竜宮のよう。御神木である日本最大の榎（ナギ）の葉は、昔から旅人が、平安無事のお守りとして頂いて帰る風習があったそうです。葉っぱの縦のみに細い脈があり、枯れ葉でも横には中々ちぎれない丈夫さにあやかって、今では縁結びのお守りとしても人気。たくさんの方が落ち葉を拾って持ち帰っていました。



神倉神社

かみくらじんじゃ

自然石を積み重ねた急勾配の石段538段を、一步一步踏みしめてはぜえ～ぜえ～、ふうふう……。杖を片手にどんどんおばあちゃん化していく体にムチ打って、ようやく辿り着いた神倉神社。御神体「ゴトビキ岩」（ゴトビキとは新宮の方言でヒキガエルのこと）が腰をおろしたその空間は、ひんやり清らかな空気が漂う別天地で、神さまの気配を全身で感じると、自然と心の扉が開かれていくのがわかります。また毎年2月6日の夜には、全国の火祭りの中でも最も古く勇壮な「お燈祭り」が行われます。御神火の松明を持った約2,000人の白装束の男たちが漆黒の夜空を焦がしながらこの急な石段を我先にと駆け降り、まるで炎の滝が流れ出るようなその光景は壮観で、一目見ようと全国各地から多くの人がやってきます。

【新宮までのアクセス】

電車で 京阪神方面から
大阪（新大阪・天王寺）→ JR 紀勢本線 → 新宮駅
名古屋方面から
名古屋駅 → JR 紀勢本線 → 新宮駅

お車で

京阪神方面から
大阪 → 阪和自動車道 → 南紀田辺IC → R311 → R168 → 新宮
名古屋方面から
名古屋 → 伊勢自動車道 → 紀勢大内山IC → R42 → 新宮
五條・奈良方面から 五條 → R168 → 新宮

バスで

東京方面から
大宮 / 池袋・横浜 → 西武バス・三重交通高速バス → 新宮
名古屋方面から
名鉄バスセンター → 三重交通高速バス → 新宮
奈良方面から 大和八木 → 奈良交通定期バス → 新宮



新宮が生んだ 個性あふれる自由人 西村伊作

新宮市は、作家・佐藤春夫や中上健次、作詞家・東くめなど、様々な文化人を輩出してきた地としても知られています。今回は、その中の一人「西村伊作」の感性や思想に触れてみたいくなり、彼の記念館を訪れました。



宗教の隔てなく「神さま・仏さま」と人が純粹に心を通わし、身分や性別、病気の有無も問わずに全ての人を受け入れてきた熊野。その風土とおおらかな熊野気質溢れる人々が多い土地柄から、新宮はたくさん文化人を生み出しています。この日探検隊が訪れたのは「西村伊作」の記念館です。この建物が出来たのは大正4年。画家であり陶芸家であった西村氏本人が設計・監督したもので、間取りは「生活を重視した居間（リビング）中心」。日本の封建的であった家族の関係を民主的なものへと自らの生活で実践した『現代住宅の祖』ともいえる建物なのです。この時代に水洗便所や温風暖房、給湯設備が備えられ、自らデザインして作らせた家具や調度品、建具や床は、良質ながらも贅沢さは一切なく、美意識で保たれた「二つの決まりごと」によってそれぞれが佇んでいる、そんな印象です。またこの自邸は、親しく交流した歌人と謝野鉄幹・晶子夫妻、文学者

佐藤春夫、画家石井柏亭らが集い、交友を深めた場でもあるのです。彼はこの後、すぐれた建築家としても活躍したのですが、驚いたのは絵や陶芸も含めすべてが独学であったということ。そして大正10年、与謝野夫妻、石井画伯らの協力を得て、今までにない新しい思想による自由で独創的な学校「文化学院」を東京神田に開校し、日本初の「男女共学」を実施させました。軍国主義による情報に乏しい時代の中で、外国文化を勉強し独学で手法を学び、晩年には無宗教の教会設立までを行って、教育者として日本の未来を考え続けた人——。

shingu modern

西村伊作記念館

新宮市新宮字上熊野地7657 TEL0735-22-6570
開館時間：10:00～12:00・13:00～16:30
休館日：月曜日・祝祭日の翌日・12/28～1/3
入館料：100円



手打ちそば くまの庵

新宮の町と太平洋が見渡せる高台にある「くまの庵」。北海道産を中心に、季節により厳選したそば粉と那智勝浦の温泉水を使って打つ蕎麦は、噛みしめる程に広がるほのかな甘みと喉越しが絶品のおいしさです！130種類ものバラを栽培している玄関前のガーデンは、眺めているだけで幸せ気分……♡

新宮市新宮 3765-2 TEL 0735-21-2870
営：11:00～14:00・17:00～19:30 休：水曜日

店主の
岡真人さん



新宮でみつけたおすすめグルメ

これ、おいしい！



3代目店主は、ぶらむ隊長の高校時代の同級生の村尾さん。お持ち帰り用めはり寿司4個入は古道歩きに最適ですよ。

総本家 めはりや 大王地店

めはり寿司とは熊野地方の郷土料理で、高菜の浅漬けでご飯を包んだおにぎりのこと。地元では、家庭で作る人も多い中、わざわざお店で食べたいと思わせる名店の魅力とは、ごはんに滲みる秘伝のタレにアリ！豚汁やめざし等とセットになった各種定食もおすすめです。

新宮市薬師町 5-6 TEL 0735-22-7188
営：11:00～14:00・17:00～23:00 休：火曜日

ぶらむ工房の大感謝祭

会場がひとつになった
よさこいソーランの総踊り

12月とは思えないぽかぽか陽気で開催された第8回「ぶらむ工房の大感謝祭」には、沢山の皆様にお越しいただき、本当にありがとうございました♡

今年の大感謝祭で特に印象的だったのは、なんといっても恒例のよさこいソーラン！今年の参加チームは過去最高の6チーム。古家学さんの曲と合わせた総踊りはステージはもちろん、客席をぐるりと囲み、お客様も交えて会場全体がひとつになりました。このような感謝祭を毎年開催できるのも、お客様、地域の皆様、関係業者の皆様のおかげです。来年ももっとバージョンアップして開催できるように1年頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

